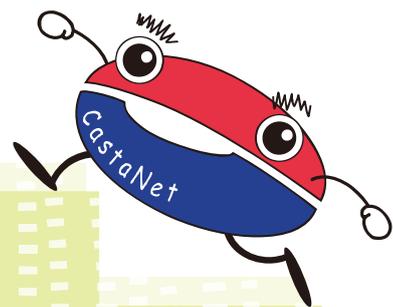


# 小さな企業の CSR 報告書

日本でいちばん社会貢献に力を入れている小さな企業の物語



大  
株式会社カスタネット 社会貢献室

小サナ オフィスニ イテ

東ニ コワレタ椅子 アレバ

行ツテ 修理ニ ハゲミ

西ニ 引越シノ ハナシアレバ

行ツテ 相談ニオウジ

南ニ トナーカートリツジ 見積アレバ

行ツテ ボランテイアノ 財源ニナルト イヒ

北ニ 安サヲ 競ウハナシガ アレバ

安サダケデハ ナイト イヒ

ヒデリノトキハ 汗ヲ ナガシ

サムサノトキハ 情熱ヲ ウリ

ミンナニ 何デモ屋サント ヨバレ

シツカリシタ実績

信頼デキル

サウイウ会社ニ

ワタシハ ナリタイ

## 企業理念

いつも社会と共鳴する企業をめざし、  
社会貢献と事業が **シンクロナイズ** する姿を追い求めています。

鍵山秀三郎氏（孫イエローハット創業者）  
からの手紙を抜粋

植木 五 様

拝啓 いつもご高配を賜りまして厚くお礼申し上げます。

企業の評価基準は、数字に基づいたものが多いが、  
（中省略）

その会社が社会に貢献をし、人を幸せにしつつ成長  
しているか、人を不幸せにしつつ膨張しているかの  
いずれかであると思う。

カスターネットは、前者の企業であると確信します。  
益々の発展をお祈り申し上げます。

鍵山秀三郎 拝

6018037



『雨ニモマケズ』

雨ニモ マケズ

不況ニモ マケズ

大手通販ニモ マケズ

丈夫ナ サポーターヲ モチ

夢ハ アリ

決シテ 諦メズ

イツモ 社会ト キヨウメイシ

事業ト 社会貢献ガ

シンクロナイズスル 姿ヲ モトメ

アラユルコトヲ

オフィス用品ノ ジョウホウヲ モチ

要望ミミキキ

ソシテ提案

京都ノ 南ノ 九条ノ

## 会社概要 (2012年5月現在)

商号	株式会社 カスタネット	
沿革	平成 12年 12月 13年 1月 4日 2月 3日 18年 6月 19年 2月 3日 22年 8月	大日本スクリーン製造株式会社の社内ベンチャー制度に合格 法人組織として京都市南区内に設立 創業 社会貢献室を設置 社会貢献室 町家分室「きょうとまちなか交流拠点」を京都市中京区に開設 本社及び社会貢献室 町家分室を移転
代表 所在地	代表取締役社長・社会貢献室長 植木 力	
	[本社] 〒601-8037 京都市南区東九条西河辺町 33 TEL 075-681-9100 FAX 075-693-4625 URL <a href="http://www.castanet.co.jp">http://www.castanet.co.jp</a> [CSセンター] TEL 075-662-7200 FAX 075-662-7203 [大阪南営業所] 〒557-0063 大阪市西成区南津守 1丁目 1番地 17号 [社会貢献室 カスタくんの町家(おうち)] 〒601-8037 京都市南区東九条西河辺町 33 本社事務所隣接	
決算期	12月	
資本金	1,000万円	
業種	小売業	
出資者	植木 力 86% 大日本スクリーン製造株式会社 14%	
従業員	10名	
得意先	全国の法人 約 3,000社	
取引銀行	京都銀行 本店営業部、京都信用金庫 本店	
事業内容	オフィス家具 オフィス消耗品(オフィス文具、トナーカートリッジ、OA関連消耗品) 工場用作業用品(安全用品、防災・防犯用品、キャスト、運搬台車、工具消耗品) ソーシャルビジネス(ソーシャルバスケットのギフト、花ギフト)	
社会貢献室顧問	堀田 力(弁護士・公益財団法人さわやか福祉財団理事長) 川本 卓史(京都ソーシャル・アントレプレナー・ネットワーク(KSEN)会長) 加藤 道彦(株式会社アイ&アイ・アソシエイツ代表取締役)	

## ご挨拶

私が生まれたのは、1958年(昭和33年)私の家も、まわりの家も貧乏な時代だったと記憶しています。その後の高度成長、石油ショックなど、物があることで幸せの価値と思う時代が長く続いた、現在も続いていると思います。その様な時代の中、高校生の時に出合った一冊の本。松下幸之助のPHPでした。その日から、教科書は全く読まず、小遣いは全てPHPの新刊本になったのです。高校生がPHPを読むことで周囲からは変わった高校生に見えていたそうです。本に書かれていたのは「商売は、お金儲けだけでは駄目、社会貢献が必要」松下幸之助の言葉でした。それから約25年後(2001年)、あの言葉を信じ『社会貢献とともに成長したい』そんな想いで退職型の社内ベンチャー制度に応募し、カスタネットを創業しました。企業の営利活動と社会貢献活動(非営利活動)は、決して相反するものではなく、むしろ親和性があり車の両輪のようなものである。と本の教えを確信しての行動でした。東日本大震災以降、ビジネスのあり方が環境や社会問題などと真っ向から取り組み、それを解決しながら事業展開するソーシャル的なビジネスに日本人の意識が大きく変わり始めました。それは、松下幸之助の予言のように、企業の社会的責任(CSR=Corporate Social Responsibility)とはコンプライアンスの徹底でも社会貢献でもなく、本業を通じて社会的課題を解決するソーシャルビジネスが動き始めたと思います。

鍵山秀三郎氏の考え方、生き方に学ぶ塾生になり「大きな努力で小さな成果を・・多くの人は“小さな努力で大きな成果”を求めようとするが、“大きな努力で小さな成果”を得ようとする生きの方が、確実。。。」と聞かされているのですが、直ぐに成果を求めようとする自分がいることに反省しています。こんな小さな企業が、活動を継続できているのは鍵山秀三郎氏との出会い、社会貢献室の顧問に就任して頂いた、堀田力さんを始めとする多くの方々のご支援の賜物と思っています。

第一版の報告書は、日本中から問合せなどが殺到し、増刷、送料の負担も少なくなく、嬉しい?悲鳴でした。特に日本のCSR界において第一人者である(株)損害保険ジャパン 関 正雄氏(CSR・環境推進室長)が新聞紙面で弊社の報告書を絶賛していただき、日本中に報告書の存在が広がりました。今回も、外部の力を借りず社内で制作したため、大企業のCSR報告書のような立派なものではありません。しかし、この報告書もP(Plan=計画)D(Do=実行)C(Check=評価)A(Act=改善)サイクルのように、前回より今回、今回より次回と上がっていけば良いと思っています。

それも、CSR報告書の見栄えではなく、“大きな努力で小さな実りのある成果”を。

そして、長期の目標として、従業員もその家族も取引先も地域の人々も、弊社にみんな自然と吸い寄せられるように集まる『マグネットカンパニー』を理想の企業像、それが当たり前の社会になるようにしたいと思っています。

今後ともご支援の程、よろしくお願い申し上げます。

2012年5月

株式会社カスタネット  
代表取締役社長・社会貢献室長  
植木 力

社長ブログ <http://ueki.biz/>

一般社団法人京都ソーシャルビジネス・ネットワーク 代表理事



2011年11月出版  
出版：図書出版 文理閣  
ISBN/978-4-89259-664-3  
1,500円(税込)  
川本卓史氏との共著



2008年12月出版  
出版：(株)かんぼう(官報：政府刊行物)  
ISBN/978-4-904021-20-0  
1,500円(税込)  
著書の収益は全てカンボジアの子どもたちが喜ぶ事業に寄贈致します。

出身地：京都府宮津市(京都府立峰山高校)  
職業：社会企業家(元：航空自衛官)  
趣味：仕事(起業までは寝ることでした)  
好きな場所：春と夏が終わった日本海の海水浴場  
夢：田舎にオフィスをつくり、週3日は田舎勤務

# I. これからの取り組みと課題

## 1. 障がい者雇用についての課題

第一版の報告書では、2012年3月までに障がい者を2名採用目標としましたが、残念ながらできていません。授産施設などに軽作業を発注し、就労の支援は行っていますが直接雇用までは、できませんでした。京都府知事 功労団体表彰まで頂きながら、申し訳ない気持ちです。

### (1) 雇用したい理由

障害者法定雇用率は、常用雇用労働者56人以上の企業を対象に、1.8%と法律で定められています。企業である以上、対象外企業であっても前向きに雇用を行うことが必要と考えます。職場で障がいのある方とない方が助け合って業務を遂行することにより、作業の標準化、配慮の心などが養われ、企業としてメリットがあるものと確信しているからです。

### (2) できていない理由

従来、手で行っていた仕事が基幹システムの再構築により自動化が進み、障がい者の方に向いていた仕事がなくなり、仕事が増えても増員せず行うことができています。事務所の移転にともない、バリアフリーではなくなったため設備的な問題もあります。

### (3) 今後の予定

ソーシャルバスケット事業、カスタネットストアの稼働などにより障がい者の方に適した業務が発生するものと予想しています。

又、障がい者手帳をもっていない人、終日勤務が困難な人など勤務形態も検討しながら、今後、増員時は優先雇用の予定です。(具体的な時期を示せず申し訳ございません)

それまでは、授産施設などに仕事を出すことを最優先とします。

## 2. ソーシャルビジネスの推進

当社の『企業理念』が、ソーシャルビジネスの基本であると確信しています。

ソーシャルビジネスは、地域社会が本来持っていた、人と人との絆や自然と共生する知恵などを再評価し、社会を再構築する試みでもあり、収入を得る経済活動と理想を現実にする社会活動を両立させ、競争より共生を求め、人と環境を大切にしながら適正利益をあげ、事業を継続することが、あらゆる場面で求められています。このソーシャルビジネスは、むしろ、大企業ではなく、中小企業だからこそ実践できるビジネスの手法だと確信をしています。

### (1) ソーシャルバスケットのギフト(寄付+ギフト)

社会貢献を取り入れた、新しい考え方のショッピングサイトです。

お客様と販売店が連携して大切な人への贈りものを社会貢献につなげ、日本に寄付文化を広げるきっかけとなることをめざしています。

社会貢献型通販サイト

<http://social-basket.com/>



### (2) 支援組織の立ち上げ

2011年4月には、一般社団法人京都ソーシャルビジネス・ネットワークを設立し活動を開始しました。当社はその活動を全面的に支援しています。

- ・ NPO(特定非営利活動法人)、社会起業家をめざす人など向けに町家塾の開催
- ・ ソーシャルビジネス普及講演(平成23年度実績 計20回 1,069名)
- ・ ソーシャルビジネスの事例、解説書作成

<http://www.kyoto-sbn.com/>

### (3) 行政の活動にも支援

京都市では、ソーシャルビジネス支援実行委員会を平成23年度に設置され、当社も委員会のメンバーとして参加しています。『小さな企業のソーシャルビジネスフォーラム in 京都』2011年11月の開催にも協力させて頂きました。

## II. 直近2年間の社会貢献活動と課題

- **カンボジアの子どもたち支援** - P. 6～7 -  
〔カンボジアの子どもたちと、当社のお客様との交流を深めることが出来ていません。〕
  - ・ 国立小児病院給食支援活動
  
- **障がい者スポーツ支援** - P. 8 -  
〔京都の障がい者スポーツの応援について、京都企業に呼びかけが出来ていません。〕
  - ・ 全国車いす駅伝競走大会
  - ・ 障害者シンクロナイズドスイミング・フェスティバル
  - ・ 視覚障害者京都マラソン大会
  
- **障がい者、授産施設へ軽作業の発注** - P. 9 -  
〔発注金額の集計、過去からの推移表、今後の発注計画が出来ていません。〕
  - ・ 京のおともだちクッキーのパッキング作業
  - ・ カタログ封入作業
  - ・ 京都障害者ワークフェアにて知事表彰を受賞
  
- **使用済み点字用紙の活用** - P. 9 -  
〔点字を活用したチラシ印刷の継続発注（年間計画）が出来ていません。〕
  - ・ 京のおともだちクッキー販売用の手提げ袋製作
  - ・ 点字を活用したチラシ印刷（点字の普及活動）
  
- **東日本大震災被災地支援** - P. 10 -  
〔従業員を被災地支援に行かせることが出来ていません。〕
  - ・ 被災地及び物資を運ぶボランティア団体、行政などへ台車を寄贈
  
- **さわやか福祉財団支援** - P. 10 -  
〔名刺両面大作戦、口頭で伝える程度になっています。〕
  - ・ 名刺両面大作戦「辻立ちファンド」支援
  
- **カスタくんの町家（おうち）** - P. 11 -  
〔起業をめざす人への応援が不足していると思っています。〕
  - ・ 社会企業家、起業をめざす人たちの交流会
  - ・ ふれあいの居場所の提供
  
- **スマイルミュージック・フェスティバル支援** - P. 12 -  
〔フェスティバル当日の交流のみに終わっています。〕
  - ・ NPO団体 音の風が企画した音楽会
  
- **その他** - P. 12 -
  - ・ 京都市左京区 高野玉岡町バス停にベンチを寄贈

### Ⅲ. 社会貢献活動の実績

#### 1. 社会貢献室 広報担当 カスタくん

創業時より、キャラクターを介してメッセージを発信することが、一つの差別化につながる  
と考え、色々なバージョンのデザインが生まれました。障がい者スポーツ、京の歳時記、百人  
一首などのカスタくんがいます。

現在、カスタくんの4コマまんがを制作中です。

社会貢献室 広報担当のカスタくんが、当社の取扱い  
商品を分かりやすく楽しくご紹介させて頂く予定です。



カスタくんクッキーも  
販売しています



障がい者スポーツ  
バスケットボール



歳時記シリーズ



カスタくんの百人一首

#### 2. カンボジアの子どもたち支援

##### (1) 文房具寄贈 (活動は終了しました)

創業時より、全国の皆さまから文房具を回収し、カンボジアの  
小学校へ寄贈する活動を行ってまいりました。

2010年度をもって、カンボジアへの社会  
貢献活動に協力頂いております公益財団  
法人国際開発救援財団(FIDR)の初等教育  
支援事業の終了に伴い、文房具寄贈活動  
を終了させて頂きました。

ご支援ありがとうございました。



カンボジアの子どもたち



文房具をカンボジアへ発送

##### (2) トレア小学校校舎寄贈 (使用済みトナー回収活動は終了しました)

今にも壊れそうな小屋が教室であったり、トイレのない学校が多数あることを現地で視察し  
色々な経緯のなか、小学校を建設することになりました。建設資金は、使用済みのトナーカー  
トリッジを回収することで得られる収益を財源とし2004年に校舎(6教室トイレ付)が完成しま  
した。2008年にはトレア小学校を訪問して、校舎が大切に使用されていることを確認いたしま  
した。

2004年 トレア小学校校舎



旧校舎



竣工式の様子



2008年夏 子どもたちと再会

小学校建設資金

350万円

##### (3) 遊具寄贈

2007年、京のおともだちクッキーの収益の一部で、滑り台・シー  
ソー・ブランコの遊具をプレイアック・ニアン小学校へ寄贈しまし  
た。カンボジアの農村で暮らす子どもたちは遊具で遊んだ経験が  
なく設置された遊具は大変人気です。カスタくんは、カンボジアの  
子どもたちからも人気者になりました。



#### (4) 国立小児病院給食支援活動

公益財団法人国際開発救援財団(FIDR)がカンボジアで行う、100円で1日3食、栄養バランスのとれた給食を提供するためのプロジェクトを応援しています。

**トナーカートリッジの売上1%**を寄付財源としています。収益の一部ではなく売上の1%にすることにより、透明性が保てるだけでなく、事務処理の煩雑さがなくなり、従業員全員が寄付金を認識することができます。トナーカートリッジは、当社にとって拡販商材として重点をおいており、売上が上がれば寄付も増えます。オフィスでは消耗品であり、社会貢献とビジネスの良い関係に入りつつあります。



純正・汎用・リサイクル品全ての商品対象

カンボジアには、治療の一環としての病院給食がありませんでした。

この国の子どもたちの医療の中心的な役割を果たす国立小児病院でも、給食は1日2回、午前にご飯とスープ、午後にご飯のみという簡素なもので、栄養への配慮はされていませんでした。また、用意できる給食は患者の3〜4割分のみに限られていました。

治療効果を高めるためにも、栄養バランスの取れた給食が必要とされていたため、FIDRは、病院が自立的に適切な病院給食を提供できるようになることを目指し、2006年より「国立小児病院給食支援プロジェクト」を開始しました。

当社は、この大きなプロジェクトのほんの一部ですが支援をさせて頂いております。

#### 主なプロジェクト内容

1. 給食施設の改善⇒給食棟を建設、機材を配備
2. スタッフトレーニング⇒栄養科や病院スタッフの教育(栄養学、献立作り、給食運営)
3. 入院患者への給食提供⇒栄養バランスの取れた1日3食の給食、その他、流動食、特別食、補完食
4. 栄養教育⇒患者の保護者などへの基礎的な教育

#### 【新しい給食システム稼働後、こんな変化がありました】

##### プロジェクト開始(前)

調理風景は・・・



旧厨房での調理風景。しゃがんで床にまな板を置いて作業をしていた

##### プロジェクト開始(後)



新しい給食棟で給食の下ごしらえをする調理師たち。常に立位で作業する

給食の受け取りは・・・



給食を厨房まで受け取りに行かなければならなかった。受け取りも、早い者勝ち



各病棟に配膳にまわる。入院患者リストと照合して、確実に全員に配給される

食器は・・・



食器は自分で持参。ビニール袋で受け取る人も多かった



専用食器を用意し、衛生的かつ均等な配膳ができるようになった。メニューは、昼食・夕食はご飯、スープ、おかず、果物やお菓子の4品。朝食はおかず



#### ～FIDRからの最新ニュースを抜粋しています～

2011年12月1日より、国立小児病院で特別食と補完食の提供が始まりました。まずは外科病棟のみで試行。今回始めた特別食は、「高カロリー高タンパク質食」で、一般食と豆乳をセットにしたもの。エネルギーおよび栄養素の量を正確にコントロールするため、予めお弁当箱に詰めておき、該当する患者のもとに届けます。

一方、補完食は、魚や肉、野菜を細かく刻んだものを加えたお粥で、こちらもお弁当箱で配膳します。お弁当箱は、より衛生的に配膳するために新たに取り入れました。配膳後すぐに患者が食べない場合でも、ふたのついたお弁当箱が食事をハエなどから守り、衛生的に保ちます。それぞれの患者に適した食事を提供するためには、食事を処方する医師や看護師の協力が欠かせません。今後は、外科病棟以外の病棟でも高カロリー高タンパク質食・補完食の説明会を開き、これらの食事が全病棟で導入されることを目指します。

### 3. 障がい者スポーツ支援

#### (1) 全国車いす駅伝競走大会 -毎年2月度開催-

京都では、障がい者スポーツの発祥の地と言われるほど、たくさんのスポーツが生まれています。代表的なのが2月に開催の全国車いす駅伝競走大会です。

全国規模で行われる大きな大会に、創業時より京都の企業として応援させて頂いています。



タッチの瞬間、選手から選手へ熱い思いが伝わります

全国車いす駅伝競走大会開催協賛金		
第13回大会(平成14年)	50,000円	
第14回大会(平成15年)	50,000円	
第15回大会(平成16年)	50,000円	
第16回大会(平成17年)	100,000円	協賛品 210,000円相当
第17回大会(平成18年)	150,000円	協賛品 1,540,000円相当
第18回大会(平成19年)	200,000円	協賛品 315,000円相当
第19回大会(平成20年)	200,000円	協賛品 315,000円相当
第20回大会(平成21年)	200,000円	協賛品 315,000円相当
第21回大会(平成22年)	210,000円	協賛品 315,000円相当
第22回大会(平成23年)	220,000円	協賛品 315,000円相当
第23回大会(平成24年)	230,000円	協賛品 315,000円相当
第24回大会予定(平成25年)	240,000円	

#### (2) 障害者シンクロナイズドスイミング・フェスティバル -毎年5月度開催-

障害者シンクロナイズドスイミングは京都が発祥で、20年以上続いております。障がいのある人とない人が、共にプールの中で演技できるバリアフリーのスポーツと言っても過言ではありません。また、当社の企業理念である「事業と社会貢献をシンクロナイズする」を貫きたい思いがあるから、創業時より応援させて頂いています。

会場：京都市障害者スポーツセンター



障害者シンクロナイズドスイミング・フェスティバル開催協賛金		
第10回大会(平成13年)	協賛品	50,000円相当
第11回大会(平成14年)	協賛品	50,000円相当
第12回大会(平成15年)	協賛品	50,000円相当
第13回大会(平成16年)		100,000円
第14回大会(平成17年)		100,000円
第15回大会(平成18年)		100,000円
第16回大会(平成19年)		150,000円
第17回大会(平成20年)		150,000円
第18回大会(平成21年)		150,000円
第19回大会(平成22年)		150,000円
第20回大会(平成23年)		150,000円
第21回大会(平成24年)		150,000円

#### (3) 視覚障害者京都マラソン大会 -毎年3月度開催-

京都ライトハウス様とのご縁で、協賛をさせて頂いております。



視覚障害者京都マラソン大会開催協賛金	
第28回大会(平成23年)	30,000円
第29回大会(平成24年)	30,000円

## 4. 障がい者、授産施設に軽作業の発注

### (1) 京のおともだちクッキーのパッキング作業 **-京都市洛南障害者授産所-**

真空パックまではクッキー職人の工場で行い、賞味期限の捺印など最終パッキング作業をお願いしています。



京のおともだちクッキー  
「リアル」スクットのキト(寄付+付)」  
でも購入できます。

### (2) オフィス用品カタログ封入作業 **-京都市みぶ学園-**

最新カタログとおすすめ商品の資料等を封入して発送できるまでの作業をお願いしています。



NHKボランティアネット  
で紹介されました



### (3) 京のおともだちクッキー販売用の手提げ袋製作

#### **-社会福祉法人京都ライトハウス(FSトモニー)-**

京のおともだちクッキーの詰め合わせ箱をどうするのか、試行錯誤を繰り返している時に、点字新聞や点字雑誌などの使用済み点字用紙との出会いがありました。錦市場「珍味の喜久屋」、嵯峨嵐山「トロッコ列車」売店で、クッキー詰合せを販売しています。紙袋は、各店オリジナルのデザインですのでお楽しみ頂けます。この事はNHKボランティアネットのサイトでも紹介され全国から反響が届いています。



使用済み点字用紙を  
活用した紙袋

### (4) 点字を活用したチラシ印刷(点字の普及活動) **-社会福祉法人京都ライトハウス(FSトモニー)-**



点字付の名刺を持っておられる人も増えていますが、健常者はその点字を読むことは難しいと思い、五十音表を印刷された点字のチラシを作成しました。一文字、一文字、点字を解読することにより、宣伝効果も高く、点字への理解も進んでいるようです。解読後もチラシは処分されておらず、費用対効果としては抜群なチラシです。

### (5) ビアカップ(町家交流会用)の制作 **-宮津作業所-** (現在は、休止しています)



交流会に参加した人は、好きなデザインのビアカップで美味しいビールを飲み、持ち帰って頂いています。持ち帰ることによりご家族への宣伝にもなり、補充として定期的に発注が出来ました。

### (6) その他

平成23年度京都障害者ワークフェアにて京都府知事 功労団体表彰を頂きました。京都府より、長年にわたり、障がい者の雇用の促進と職業の安定に貢献のあった団体として表彰する旨のご連絡を頂きました。代表の植木は「障がい者雇用をできていない企業が表彰なんて・・・」とお断りをしましたところ「障がい者雇用促進への創意工夫・活動の熱意」などで当社が良いと推薦があったとのこと。まわりの人や地域では、当社の小さな活動を見て頂いたことに社員一同、嬉しい気持ちになりました。

決して順風満帆ではない小さな企業ですが、このような表彰が励みになります。  
また、次に続く企業のためにも、できることをしっかり継続して取り組んでいきたいと思えます。



知事表彰を頂いている代表の植木

## 5. 東日本大震災被災地支援

東日本大震災で弊社が出来ることは何なのかを考えていました。ニュースで物資を運ぶ行政の方やボランティアの方の姿を見て、台車を寄贈することに決めました。品質はもちろん耐荷重も優れている台車なので、きっと被災地では、トラのように強く活躍してくれるだろうと確信していました。



2011年4月、5月に台車を発送しました

被災地への台車寄贈	
35台	693,000円相当



福島県いわき市にて

福島県でも医療用品や生活物資をめぐり運び運んでいるようです。



宮城県石巻市にて



宮城県石巻市にて

↑後日、ボランティアに行かれた社会福祉法人西陣会様より台車が被災地で活躍をしているとの連絡を頂きました。

## 6. 公益財団法人さわやか福祉財団への支援

公益財団法人さわやか福祉財団へのご支援は、財団の理事をされています堀田 力さんに、当社の社会貢献室 顧問をお願いしたのがきっかけです。  
堀田さんが率先して取り組んでおられます「名刺両面大作戦」とは、地域に暮らす一人一人が、社会に役立つ活動に参加していることを、自分の名刺の裏に刷る事により社会参加活動を広める運動です。この運動を広めるため、2010年6月より2011年8月までの1年間、山手線各駅で毎朝7時45分から1時間、堀田さんはじめボランティアの方々が、直接サラリーマンに呼びかける「山手線一周辻立ち」に取り組みました。この期間、代表の植木は、東京出張時には必ず、朝、一緒にチラシ配布のお手伝いをさせて頂きました。

山手線一周「辻立ちファンド」への寄付	
浜松町駅～目黒駅(6駅)	18,000円
恵比寿駅～新大久保駅(6駅)	18,000円
高田馬場駅～駒込駅(6駅)	18,000円
田端駅～御徒町駅(6駅)	18,000円
秋葉原駅～新橋駅(5駅)	15,000円

※辻立ち終了駅分1駅=@3,000



ボランティアの方々と一緒に



いつもさわやかな堀田さんです

## 7. 『カスタくんの町家(おうち)』

(1) 『カスタくんの町家』(中京区) ※2010年8月に南区へ移転しました

2007年2月に「開放型社会貢献室」として、NPO団体や市民活動団体、学生、企業の方にも広くご利用いただけるようにとオープン致しました。

### ◆町家募金 -総額10万円を寄付-

町家へお越しいただいた皆様と一緒に社会に貢献するとの思いで、町家募金に協力をお願いしました。募金は、カンボジア国立小児病院給食支援プロジェクト活動(公益財団法人国際開発救援財団)に寄付いたしました。



### ◆社会企業家・起業をめざす人たちの交流会 -毎月第二金曜日開催-

起業を目指す学生・社会人・企業内でベンチャーを考えている人などがちゃぶ台を囲んで膝と膝を合わせ本音で語り合う当社主催の交流会です。



(2) 『カスタくんの町家(おうち)』(南区)

2010年8月本社移転にともない、町家も移転することにいたしました。本社、隣接に民家を借り、新たに『カスタくんの町家(おうち)』と呼ぶことにいたしました。

平日の終日は、常に開放していますので、人と人とのつながりにふれていただく“ふれあいの居場所”として提供しています。尚、社会企業家・起業をめざす人たちの交流会は、新町家でも引き続き、第二金曜日に開催をしております。

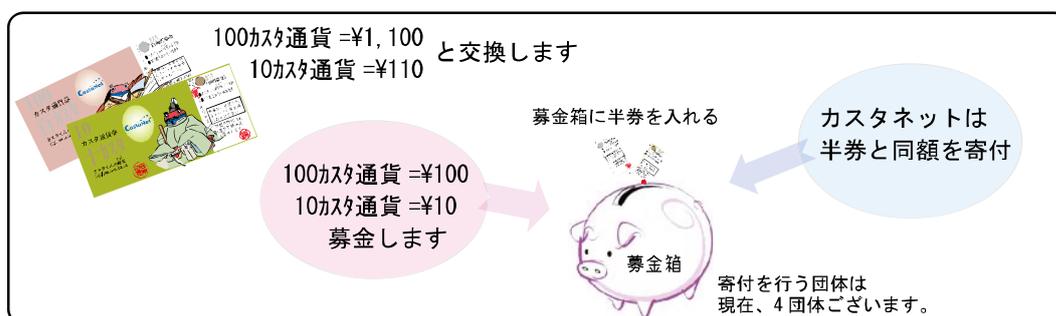
交流会は2012年5月時点で、通算58回目です。



京都ソーシャルビジネス・ネットワークの町家塾の様子

### ◆町家募金開始

新しい町家のみで利用する「カスタ通貨」というチケット制を導入しました。町家の利用料や交流会の参加費などをカスタ通貨でお支払い頂きます。100カスタ通貨なら100円、10カスタ通貨は10円を寄付して頂く仕組みです。その寄付金額と同額を当社も寄付をするというものです。



## 8. スマイルミュージック・フェスティバル支援

「企業とNPOのパートナーシップサポート事業」の一環として、2006年にNPO団体音の風が企画されました音楽会に楽器のカスタネットを寄贈したのがきっかけで、協賛させて頂いております。スマイルミュージック・フェスティバルは、同じ地域に暮らすハンディキャップのある人とともにつくる、笑顔がいっぱいの音楽の祭典です。出演者も観客もスタッフも、みんなで一緒に音を楽しみ、笑顔になることのできる、参加することに意義のあるコンサートです。



スマイルミュージック・フェスティバル協賛品		
平成 18 年	カスタネット 1,000 個、カスタくんクッキー 100 枚	231,000 円相当
平成 19 年	カスタくんクッキー 100 枚	21,000 円相当
平成 20 年	カスタくんクッキー 100 枚	21,000 円相当
平成 21 年	カスタくんクッキー 100 枚	21,000 円相当
平成 22 年	カスタくんクッキー 100 枚	21,000 円相当
平成 23 年	カスタネット 100 個、カスタくんクッキー 100 枚	42,000 円相当
平成 24 年	カスタくんクッキー 150 枚	31,500 円相当

## 9. その他

京都市障害者スポーツセンター（京都市左京区）敷地内にあります高野玉岡町バス停に、ベンチを寄贈致しました。



## IV. 新聞・雑誌等に紹介されました

『モテる会社  
～小さいけれどみんなが好きになる～』  
著書：川上徹也氏  
出版：あさ出版  
ISBN/978-4-86063-466-7  
1,470 円（税込）

2012. 2. 15 毎日新聞（京都版）「京の人」

## V. メッセージ

### 1. 公益財団法人国際開発救援財団 (FIDR)

株式会社カスタネット様と、私ども国際開発救援財団（略称FIDR「ファイダー」）とのご縁は、今から10年ほど前になりますが、FIDRの活動地であるカンボジアの子どもたちへ、植木社長が文房具の寄贈や小学校建設をお申し出くださったことから始まります。その後もカンボジアへの支援を継続してくださり、最近では同国の子どもたちの健康を支える病院給食支援事業のためにご支援を賜っております。

㈱カスタネット様は、会社設立当初より植木社長の深い想いと強力なリーダーシップの下、社会貢献活動を積極的に推進しておられます。インターネットを駆使した募金の呼びかけや「カスタくん」クッキーの販売など広く一般の方々が社会貢献活動に気軽に参加しやすいよう工夫されているのが特徴です。さらに、植木社長のご著書の出版イベントをはじめ各地でのご講演などでFIDRの活動へのご協力を募ってくださり、その長年にわたるご厚情には感謝に堪えません。

FIDRは開発途上国での国際協力援助事業を実施するほか、東日本大震災の緊急・復興支援にも取り組んでいます。ミッションの一つに「日本企業と日本人による国際協力の推進」を掲げ、企業の皆様に開発途上国に対する関心と理解を深めていただき、互いの強みや資源を活かしあい、共に国際貢献に寄与してまいりたいと存じます。これからも、㈱カスタネット様とともに、世界の子どもたちの笑顔につながる支援を継続していただけることを願いつつ、貴社の益々のご発展と従業員の皆様のご健勝を祈念いたします。

公益財団法人国際開発救援財団(FIDR)  
1990年に発足。  
カンボジアやベトナムなど東南アジア地域を中心に、医療・保健衛生、教育、農業、収入向上などの支援事業や、緊急援助事業を行う国際協力NGO。  
飯島理事長は山崎製パン(株)代表取締役社長

公益財団法人国際開発救援財団

理事長 飯島延浩

<http://www.fidr.or.jp/>



### 2. 社会貢献室顧問

(1) 堀田 力さん [社会貢献拡大 大作戦担当]

#### 「特別な発想？」

ボランティア活動のリーダーたちの多くは、自分たちの活動を営利活動とは峻別している。会社の社長さんの多くは、同じように、自分たちの営利活動とボランティア活動を峻別し、会社のCSRとは、儲かる事業をする会社が、その社会的責任として、儲からないけど社会に役立つ事業も行うことだと考えている。ところが、植木力さんの頭は違う。

両者がごっちゃになっていて、彼は、儲けることを考えていても、それがボランティアにもなることを思い付くし、ボランティアを考えていても、それが同時に儲かることにもつながることを思い付く。そこが彼のすごいところである。考えてみれば、営利活動もボランティア活動もその顧客（ドラッカーのいうカスタマー）は、「不特定多数の人」である。両者は、動機が違う（利己心でやるか利他心でやるか）とされているが、現実には利己心と利他心を併せ持つのが人間で、だから両方の動機で活動する方がむしろ普通の状態だといってよい。

そう考えると、特別な発想の持ち主のように思われている植木力さんが、実は標準的な発想の人だということになる。しかし、まだ標準に達しない人が実に多い。植木さんの活躍がモデルとして貴重なのは、そのためである。

昭和33年 京都大学法学部卒業  
昭和36年 検事任官  
平成2年6月 法務大臣官房長  
平成3年 退職、弁護士登録、さわやか法律事務所及びさわやか福祉推進センター開設。  
主な書著  
「心の復活」(PHP研究所)「生きがい大国」(日本経済新聞社)「心は上天気!」(三笠書房)、  
「中年よ、大志を抱け!」(PHP文庫)、「『人間力』の育て方」(集英社新書)、「挑戦!」(東京新聞出版局)など多数。

弁護士

公益財団法人さわやか福祉財団理事長

<http://www.sawayakazaidan.or.jp/>



(2) 川本卓史さん [ソーシャルビジネス研究担当]

### 「営利と非営利は交差する」

昨年(2011年)4月には植木さんを代表理事とする京都ソーシャルビジネス・ネットワーク(KSBN)が設立され、私も参加しました。共著『小さな企業のソーシャルビジネス』(文理閣)を出版したり、「町家塾」の運営を手伝ったり、多少はお役に立てたかなと思っています。

東北大震災の復興は言うまでもなく、貧困家庭児の就学、高齢者福祉、働く母親の子育て、障がい者の就労などなど、いま私たちの周りには様々な困難な課題があります。

それらに対して民間企業の知恵と汗を生かして、利益を生むビジネスを通して取り組み、改善を図っていくというのがソーシャルビジネスです。私としては、引き続きこういう取り組みを支援し啓蒙するKSBNの活動に参加し、同時に、㈱カスタネットがソーシャルビジネスのモデル企業になることを応援していきたいと考えています。

自分の働く企業が利益だけでなく困難な社会的課題の解決に貢献し、「良い社会」づくりに寄与しているという意識は、何物にもまして企業の経営者や従業員のモチベーションやイノベーションの力を高めるでしょう。そして営利と非営利とが交差し、協働していくのがこれからのビジネスと社会のあり方になると信じています。

昭和37年 東京大学法学部卒業  
同年 旧東京銀行(現三菱東京UFJ銀行)入行  
平成6年 旧東京銀行を退職  
平成22年 京都文教大学人間学部現代社会学  
科教授・学科長を最後に退職  
主な著書  
「トニーの囁き」(西田書店)、「臆病な季節」  
(西田書店)、「なぜアメリカの大学は一流な  
のか」(丸善)、「折々の人間学-京都で考え  
たこと」(西田書店)：宇治市 第19回紫式部  
市民文化賞受賞、「現代社会学科への誘い」

京都ソーシャル・アントレプレナー・ネットワーク(KSEN) 会長

<http://www.ksen.biz/>

一般社団法人京都ソーシャルビジネス・ネットワーク 理事



(3) 加藤道彦さん [京都型経営道 推進担当]

### 「永続する経営」

植木さんとの出会いは、偶々見かけて参加したカスタくんの町家交流会からである。少年の頃から松下幸之助さんが根っから好きであり、経営を世のため人のためという視点から発想でき行動する植木さんはとても新鮮でありました。

CSR(企業の社会的責任)＝経済的責任＋法的責任＋倫理的責任＋社会貢献責任であるといえます。企業の成長、成熟度合いに伴って、企業の社会的責任は高めていくことを期待されているというのが一般的です。

カスタネットの企業理念は、営利活動と社会貢献活動は親和性があり、常に車の両輪として同時に具現化していこうというのです。これからのCSRのあり方というより、永続する企業のあり方としての本質をついている考え方であると思います。

社会貢献室顧問には、しっかりと役割があり、私は、『京都型経営道 推進担当』ということになっております。

私は、京都型経営道を『道学(人間学)×実学(科学・技術)×京都磁場(歴史・文化・愛着心)』と定義しています。これは、即ち永続する経営であり、今どきの言葉で言えば、持続可能な経営ということなのです。

株式会社カスタネットの経営をますます期待をもって見守っていきたいと思います。

昭和22年 長野県生れ。  
昭和47年 慶應義塾大学経済学部卒業。  
同年4月 株式会社ワコール入社。  
創業者 塚本幸一氏秘書を6年余、人事課長、  
総務経理部長。平成10年 取締役就任。  
平成16年常勤監査役。平成19年退社。  
平成20年 ㈱アイ&アイ・アソシエイツを設  
立。中小企業経営者や若手起業家に対して、  
京都型経営《道学(人間学)と実学(時代適応  
学)の統体経営》の実践活動。

株式会社アイ&アイ・アソシエイツ 代表取締役

一般社団法人京都ソーシャルビジネス・ネットワーク 理事



## VI. 事業の内容

### ● オフィス用品

カスタネットでは、文房具、トナーカートリッジなどのオフィス消耗品をはじめ、工場用作業用品など幅広い商品を販売しています。その数は100万アイテムを超える商品、お客様だけの特注商品をWeb対応することは不可能と思っておりましたが、構想から2年、『カスタネットストア』が稼動しました。お客様側に立ち、少しでも煩わしい業務が減り、喜んで頂けるWebサイトとなっております。

<http://store.castanet.co.jp/>

お問合せ：CSセンター

TEL:075-662-7200

FAX:075-662-7203

E-mail:info@castanet.co.jp



カタログ外商品のWeb発注

特注商品の登録・発注

全ての商品をお客様向け価格登録・発注

マイカタログ機能の充実

### ● オフィス家具

オフィス家具の全メーカーと取引をしています。オフィス家具は消耗品ではなく、10年、20年と大切に使用して頂きたいと思っています。そのために、お客様の要望をもとに、適したメーカー、商品をご提案させて頂き、満足、納得して頂けるサービスをご提供いたします。



各種工事  
サービス

新社屋一式  
納入実績

イス1脚  
机1台  
でもOK!



## 工場用作業用品防災・安全用品

防災用品～工具まで欲しいものが見つかる！

モノづくりの現場（プロフェッショナルな技術）に必要な高品質・高付加価値商品を展開しております。



## モノづくり大辞典 オレンジブック

- 掲載商品数 約 178,000 アイテム！  
（即納商品数 約 160,000、即納率 89%）
- 掲載メーカー数 1,141 社！
- カタログページ数 約 7,400 ページ！

トラスコ中山様  
機械工具、物流機器など  
工場用副資材（MRO）の卸売業者  
<http://www.trusco.co.jp>

<http://www.castanet.co.jp>

カスタンネット オレンジネット

検索

—社会貢献活動—

カスタンネットは東日本大震災の  
震災孤児支援に取り組んでいます。

売上の  
1%

震災孤児は、長期的な支援が求められます。  
弊社は、オレンジネット（オレンジブック掲載  
商品のWeb受注分）の売上の1%を寄付財源に致します

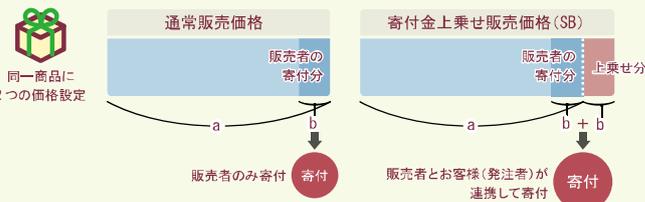
## ソーシャルバスケットのギフト（寄付+ギフト） <http://social-basket.com/>

寄付の実績や活動報告はWeb サイトでご覧いただけます



### 【寄付の金額について】

同一商品に通常販売価格と寄付金上乗せ販売価格（SB）の2つが設定されており、ご購入の際、上乗せ販売価格商品をご注文された場合は、上乗せ分が寄付金となり、その同額を販売者も寄付を行います。お客様（発注者）と販売者が連携して寄付を行うこととなります。ご購入の際、通常販売価格商品をご注文された場合は、販売者のみ、お客様（発注者）が指定した寄付先に寄付を行います。



### 【寄付先の選択について】

寄付先は、あらかじめ設定されている複数のテーマの中から、お客様（発注者）が選択してください。

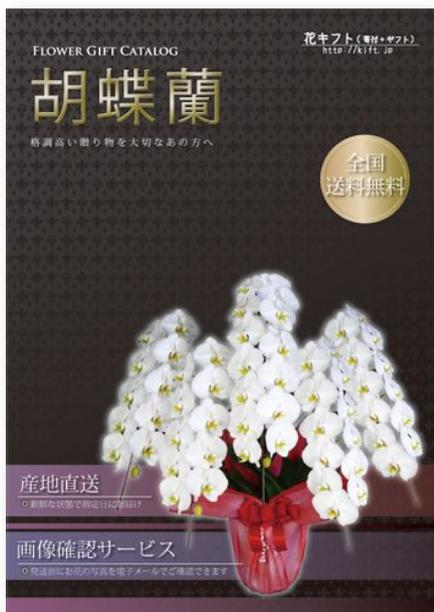
寄付先の選択は、お客様（発注者）自身が選択いただくか、もしくは、商品を贈る先様（以下：受取者様）に選択していただくかを、お客様（発注者）に決めていただきます。



受取者様には、お客様（発注者）から単に商品だけが届けられるのではなく、寄付という社会貢献意識まで同時に届けられ、しかも寄付先の選択権まで与えられるので、単なる贈答品より、はるかにインパクトがあって、お客様（発注者）からの気持ちのこもった贈物になります。



## ● 胡蝶蘭



法人のお客様向けに胡蝶蘭の販売を開始しました。  
大切なお客様へのお祝い・ギフトに最適な高品質な胡蝶蘭をご提供致します。

🌸 全国発送致します。**送料無料!**

🌸 発送前にお花の写真(お花や木札の文字)を電子メールでご確認できます

売上の**1%**を  
障がい者スポーツ大会へ  
寄付させていただきます

花カタログをご希望の場合は  
ご連絡ください

<http://social-basket.com/>

ソーシャルバスケットのギフト

検索

## ● クッキー



“京のおともだちクッキー”は「ソーシャルバスケットのギフト(寄付+ギフト)」でも販売しております。



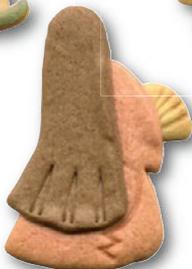
お地蔵さん



新撰組



光源氏



小野小町

売上の一部を  
カンボジアの子どもたちの  
笑顔のために  
寄付させていただきます

## VII. 当社の知的所有権一覧

### (1) 商標登録

-  カスタネット 第 4665582 号
- 京のおともだち 第 5125854 号
-  カスタくん 第 5186883 号
- ソーシャルバケット 第 5202910 号
- キフト kift 第 5406853 号

### (2) 商標登録出願中

- 花ギフト

### (3) 特許出願中

- 寄付処理方法およびシステムならびにプログラム

## VIII. あとがき

### 従業員の声

紺谷 圭佑 (CSセンター長兼オフィス家具販売担当 入社9年)



CSセンターでは、業務の効率向上のアイデアや改善を社員が積極的に提案できる場作りに努めています。また、オフィス家具では、オフィスの移転・レイアウト変更・什器の販売等が主であり、お客様とはもちろんメーカー・取引業者との打合せを行っています。プロジェクトでは、スケジュール管理が非常に重要になるため、多くの関係業者と密に連携を行い、お客様に安心と満足を実感して頂けるよう取り組んでいます。多くの方と協力して作り上げたオフィスを「成果」として実感でき、大変大きなやりがいを日々感じています。

高取 裕美子 (主に、トナーカートリッジ販売担当 入社10年)



私が、トナーカートリッジの販売で心がけていることは、価格だけで商品をお売るのではなく、お客様がご購入頂いた後のアフターフォローを大切にすることです。お客様とコミュニケーションを常にとり、クレームなどの連絡を頂くとすぐに対応する。大変なこともあります。持ち前の明るさと笑顔で乗り切っています。また、助け合える後輩と出会っていることも感謝しています。

田中 政代 (主に、カスタネットストア販売担当 入社2年)



まだまだ分からないことがたくさんあります。上司や先輩にサポートしていただき、たくさんの知識を吸収しています。フットワークの軽さと最後までやり遂げる粘りは誰にも負けません。少しでもお客様のご希望に応えられるよう努力してまいります。多くの経験を積んで、自分自身が成長していくことが私の目標です。

### 【編集方針】

本書には「障害者」と「障がい者」という二つの表記を使用しております。本書では、各団体のそれぞれの表記を尊重させていただいております。読みにくいと思われるかもしれませんがご理解ください。

### 【編集後記】

第2弾、やっと出来上がりました！雪が降っている寒い季節に取りかかったのですが、いつの間にか桜の季節も過ぎていました。今回は、できる限り数字・金額を出すようにしました。背伸びせず、素直にしっかり報告させていただきました。また、全て自社制作いたしましたので、普段使っている表現や文章を取り入れました。従いまして、不適切な表現等がございましたら、温かい目でご覧いただければ幸いです。

6ページの冒頭にも触れましたが、キャラクターの「カスタくん」の“4コマまんが”企画段階から新たな展開へと進んでおりますので、そう遠くない時期に皆さまにお披露目をさせていただけると思います。ぜひ、ご期待ください。また、東日本大震災の被災地支援も取り組みも進展していかなければなりません。まだまだ、社会貢献室としては、課題が山積みです。今回、当社の取扱商品をおPRさせて頂きました。「へえ～！こんな商品もやっているの？」と思われたのではございませんでしょうか？何か一つは、お役に立てることができるとお思いますので、お気軽にお声をおかけくださいませ。

最後になりましたが、今回も、お忙しい中メッセージを頂きました。公益財団法人国際開発救援財団理事長飯島延浩氏（山崎製パン株式会社 代表取締役社長）、社会貢献室の顧問である堀田力さん（公益財団法人さわやか福祉財団理事長）、川本卓史さん（京都ソーシャル・アントレプレナー・ネットワーク会長）、加藤道彦さん（株式会社アイ&アイ・アソシエイツ）には、この場をお借りして御礼申し上げます。ありがとうございました。

社会貢献室 金田 仁美



ご連絡先 : CSセンター  
TEL : 075-662-7200  
FAX : 075-662-7203  
E-mail : info@castanet.co.jp



## 小さな企業の CSR 報告書

日本でいちばん社会貢献に力を入れている小さな企業の物語

発行日 2012年5月9日  
発行 株式会社カスタネット 社会貢献室  
〒601-8037 京都市南区東九条西河辺町 33  
<http://www.castanet.co.jp>